

(5) 明代の社会・経済

◎社会

- ・郷紳
 - ・科挙に合格し官僚となった後，郷里に引退した有力者など
 - ・地方の指導者として台頭
- ・抗租運動（小作料不払い運動）と奴変（家内奴隷の主人に対する抗争）が各地で頻発
→鄧茂七の乱（1448～49，福建省の抗租運動から発展）

5

◎農業

- ・宋代以来の大土地所有制・佃戸制が進展
- ・従来の穀倉地帯である長江下流域で商品作物（綿花・桑・茶など）の栽培が盛ん
→長江中流域（湖北・湖南）が穀倉地帯へ
- ・宋代「蘇湖（江浙）熟すれば天下足る」→明末以降「湖広熟すれば天下足る」

10

◎手工業

- ・長江下流域で絹織物・綿織物の家内制手工業が普及
- ・陶磁器生産の増大（生産地……江西省景德鎮）

15

◎商業

- ・地方商人が全国的に活動
- ・会館・公所の整備
- ・特権商人
 - ・山西商人……政商，山西省出身
 - ・新安商人〔徽州商人〕……塩商，安徽省出身
- ・日本銀やメキシコ銀の流入→銀経済が波及

20

◎貿易

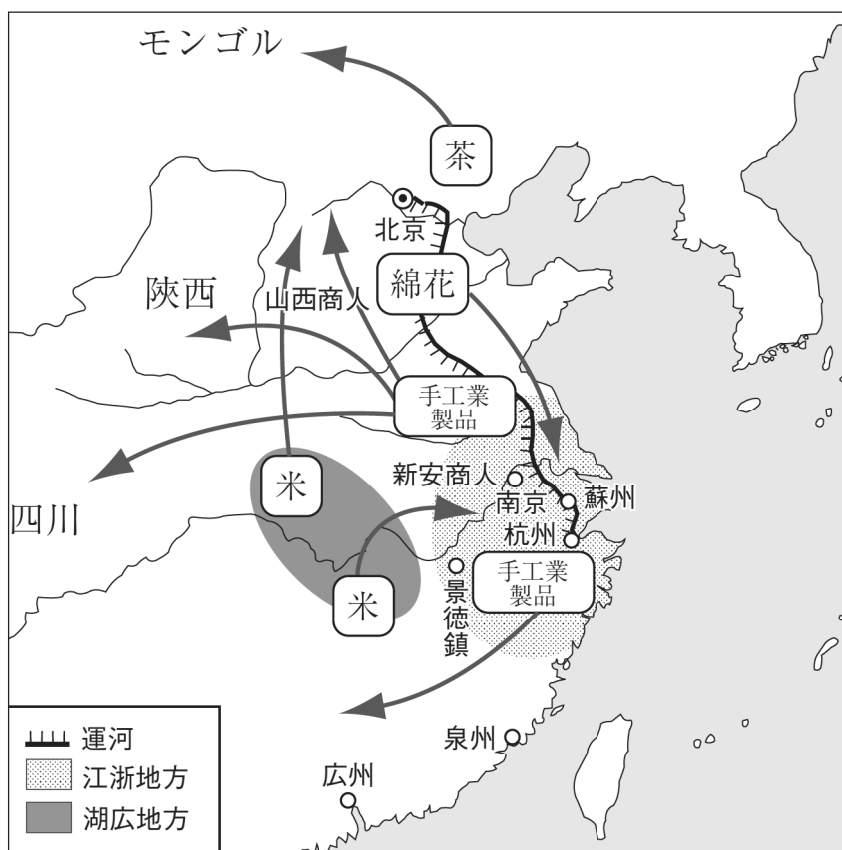
- ・当初は海禁政策（15p.166），朝貢貿易が中心
- ・16C以降，ポルトガル商人が渡来
→マカオの居住権を得る（1557），中国の生糸と日本の銀などを扱う日中貿易に参入
- ・海禁政策を緩和（1567）
→絹・陶磁器の輸出が増加，日本銀やマニラ（15p.152）経由のメキシコ銀が流入
→中国人が広東・福建から東南アジアに移住（華僑），各地に中国人街を建設

25

◎税制

- ・16Cまでは両税法（唐半ば～）
- ・銀の流通→租税の銀納が可能となる
- ・一条鞭法（16C～）……土地税と人頭税を一括して銀納

30



中国国内市場の商品の動き

- ・ 中山王尚巴志の統一（15C前半）、都は首里
- ・ 明の冊封を受け、南シナ海と東シナ海を結ぶ中継貿易で繁栄
- ・ 薩摩の島津氏が征服（1609）→日本（江戸幕府）と中国（明・清）に両属

琉球の歴史

知識を深めよう 王直（？～1559）

- ・ 明の密貿易商人（後倭寇）
- ・ 種子島に鉄砲が伝来した際、ポルトガル人が乗っていた船は、王直所有のものとされる
- ・ 生糸・硫黄いおうなどを扱う
- ・ 日本の五島列島や平戸などが活動拠点